

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成27年4月2日 (2015.4.2)

【公開番号】特開2013-186489(P2013-186489A)

【公開日】平成25年9月19日 (2013.9.19)

【年通号数】公開・登録公報2013-051

【出願番号】特願2012-48498(P2012-48498)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/041 (2006.01)

H 0 3 M 11/04 (2006.01)

G 0 6 F 3/023 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/041 3 3 0 C

G 0 6 F 3/041 3 3 0 P

G 0 6 F 3/041 3 8 0 C

G 0 6 F 3/041 3 8 0 D

G 0 6 F 3/023 3 1 0 L

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月13日 (2015.2.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

入力情報を取得する入力デバイスと、
前記入力デバイスに接続されて前記入力情報を受信する記録装置と、
前記記録装置に接続され、タッチパネルを有し、前記タッチパネルに情報入力用のソフトウェアキーボードを表示する情報処理装置と、を備え、
前記情報処理装置は、
前記記録装置に接続された前記入力デバイスからの前記入力情報の入力を行う入力フィールドが選択された場合、前記ソフトウェアキーボードを表示させないことを特徴とする制御システム。

【請求項 2】

前記情報処理装置は、
前記タッチパネルへのタッチ操作で、前記入力フィールドへの入力を行うタッチ操作入力部を有し、
前記入力フィールドが選択されている時に前記タッチ操作入力部にタッチ操作がなされた場合、前記ソフトウェアキーボードを表示させない請求項 1 に記載の制御システム。

【請求項 3】

前記入力デバイスは、バーコードスキャナーであり、
前記記録装置と前記バーコードスキャナーとは、近距離無線通信で通信し、
前記情報処理装置は、
前記記録装置と、前記バーコードスキャナーとの間で通信リンクが確立されているか否かにかかわらず、前記入力フィールドが選択された場合、前記ソフトウェアキーボードを表示させない請求項 1 又は 2 に記載の制御システム。

【請求項 4】

アプリケーションを提供するサーバーを有し、
前記情報処理装置は、

前記サーバーにネットワークを介して接続され、前記サーバーにアクセスして、ユーザーインターフェイスを表示する表示用ファイルを取得し、ブラウザーで前記タッチパネルに前記ユーザーインターフェイスを表示し、

前記ソフトウェアキーボードを表示させない機能は、前記表示用ファイルに実装されたプログラムにより実現される請求項 1ないし3のいずれか 1 項に記載の制御システム。

【請求項 5】

タッチパネルを有してタッチ操作に伴いソフトウェアキーボードが表示される情報処理装置に入力デバイスから送信される入力情報を表示する入力フィールドを表示させ、

前記入力フィールドに対してタッチ操作がなされた時に、前記ソフトウェアキーボードを表示させないことを特徴とする制御システムの制御方法。

【請求項 6】

記録装置と接続する接続部と、

タッチ操作がなされ、前記記録装置に接続された入力デバイスから入力された入力情報を表示する入力フィールド及びソフトウェアキーボードが表示されるタッチパネルと、

前記タッチパネルに表示された前記入力フィールドにタッチ操作がなされたときに、前記ソフトウェアキーボードを表示させない制御部と、

を備えることを特徴とする情報処理装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

上記目的を達成するために、本発明の制御システムは、入力情報を取得する入力デバイスと、前記入力デバイスに接続されて前記入力情報を受信する記録装置と、前記記録装置に接続され、タッチパネルを有し、前記タッチパネルに情報入力用のソフトウェアキーボードを表示する情報処理装置と、を備え、前記情報処理装置は、前記記録装置に接続された前記入力デバイスからの前記入力情報の入力を行う入力フィールドが選択された場合、前記ソフトウェアキーボードを表示させないことを特徴とする。

この構成によれば、情報処理装置は、入力デバイスからの情報の入力が行われる入力フィールドについて、当該入力フィールドが選択された場合であっても、ソフトウェアキーボードの表示を禁止する。これにより、ソフトウェアキーボードの存在によりタッチパネルの見やすさが不必要に阻害されることを防止でき、かつ、ユーザーインターフェイスにおけるソフトウェアキーボードに対応する領域に対する意図せぬ接触等による誤入力のリスクを低減できる。さらには、ユーザーがソフトウェアキーボードの表示をキャンセルするための処理を行う必要がなくなり、ユーザーの作業の効率化を図ることができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

また、本発明では、前記情報処理装置は、前記タッチパネルへのタッチ操作で、前記入力フィールドへの入力を行うタッチ操作入力部を有し、前記入力フィールドが選択されている時に前記タッチ操作入力部にタッチ操作がなされた場合、前記ソフトウェアキーボードを表示させない。

この構成によれば、情報処理装置は、タッチ操作入力部へのタッチ操作に伴って、入力フィールドが選択された場合であっても、ソフトウェアキーボードの表示が禁止される。

これにより、ソフトウェアキーボードの存在によりユーザーインターフェイスの見やすさが不必要に阻害されることを防止でき、かつ、ユーザーインターフェイスにおけるソフトウェアキーボードに対応する領域に対する意図せぬ接触等による誤入力のリスクを低減できる。さらには、ユーザーがソフトウェアキーボードの表示をキャンセルするための処理を行う必要がなくなり、ユーザーの作業の効率化を図ることができる。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

また、本発明では、前記入力デバイスは、バーコードスキャナーであり、前記記録装置と前記バーコードスキャナーとは、近距離無線通信で通信し、前記情報処理装置は、前記記録装置と、前記バーコードスキャナーとの間で通信リンクが確立されているか否かにかかわらず、前記入力フィールドが選択された場合、前記ソフトウェアキーボードを表示させない。

ここで、記録装置と、バーコードスキャナーとが近距離無線通信する場合において、これら装置間の通信リンクが確立されていない場合は、バーコードスキャナーの入力が不可能な状態であるとして、入力フィールドが選択されたときに、端末のＯＳの機能により、ソフトウェアキーボードが自動で表示されることが想定される。そして、上記構成によれば、通信リンクが確立されていない状況であっても、ソフトウェアキーボードの表示を禁止するため、通信リンクの一時的な遮断や、その他の単発的な通信エラーが発生している状況下で、入力フィールドが選択された場合であっても、タッチパネル上にソフトウェアキーボードが表示されることを防止でき、タッチパネルの見やすさの向上、及び、誤入力の低減を図ることができる。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

また、本発明では、アプリケーションを提供するサーバーを有し、前記情報処理装置は、前記サーバーにネットワークを介して接続され、前記サーバーにアクセスして、ユーザーインターフェイスを表示する表示用ファイルを取得し、ブラウザで前記タッチパネルに前記ユーザーインターフェイスを表示し、前記ソフトウェアキーボードを表示させない機能は、前記表示用ファイルに実装されたプログラムにより実現される。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

また、上記目的を達成するために、本発明は、制御システムの制御方法であって、タッチパネルを有してタッチ操作に伴いソフトウェアキーボードが表示される情報処理装置に入力デバイスから送信される入力情報を表示する入力フィールドを表示させ、前記入力フィールドに対してタッチ操作がなされた時に、前記ソフトウェアキーボードを表示させないことを特徴とする。

この制御方法によれば、入力デバイスからの入力情報が入力される入力フィールドがタッチ操作されることにより、選択された場合であっても、ソフトウェアキーボードの表示を禁止する。これにより、ソフトウェアキーボードの存在によりタッチパネルの見やすさ

が不必要に阻害されることを防止でき、かつ、ユーザーインターフェイスにおけるソフトウェアキーボードに対応する領域に対する意図せぬ接触等による誤入力のリスクを低減できる。さらには、ユーザーがソフトウェアキーボードの表示をキャンセルするための処理を行う必要がなくなり、ユーザーの作業の効率化を図ることができる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

また、上記目的を達成するために、本発明は、情報処理装置であって、記録装置と接続する接続部と、タッチ操作がなされ、前記記録装置に接続された入力デバイスから入力された入力情報を表示する入力フィールド及びソフトウェアキーボードが表示されるタッチパネルと、前記タッチパネルに表示された前記入力フィールドにタッチ操作がなされたときに、前記ソフトウェアキーボードを表示させない制御部と、を備えることを特徴とする。

この構成によれば、入力デバイスからの入力情報が入力される入力フィールドがタッチ操作されることにより、選択された場合であっても、ソフトウェアキーボードの表示を禁止する。これにより、ソフトウェアキーボードの存在によりタッチパネルの見やすさが不必要に阻害されることを防止でき、かつ、ユーザーインターフェイスにおけるソフトウェアキーボードに対応する領域に対する意図せぬ接触等による誤入力のリスクを低減できる。さらには、ユーザーがソフトウェアキーボードの表示をキャンセルするための処理を行う必要がなくなり、ユーザーの作業の効率化を図ることができる。